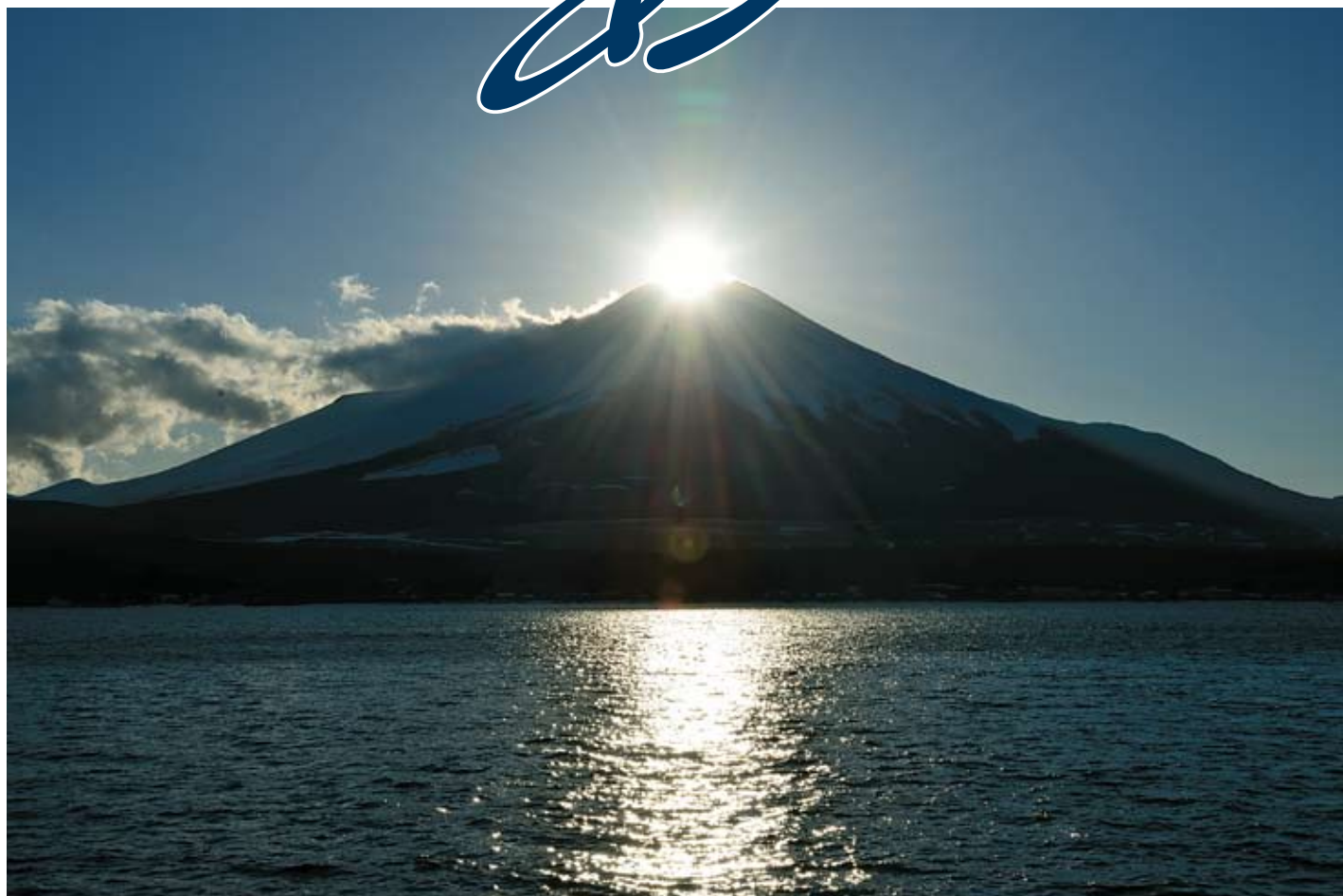


スポット

- ・平成25年度事業計画
- ・平成24年度事業報告
- ・研修報告
- ・さくら近況報告
- ・ボーリング大会
- ・新人紹介

あかつき



山中湖

第65号 2013年8月1日発行

発行／編集 社会福祉法人 あかつきコロニー

〒208-0023 東京都武蔵村山市伊奈平 1-64-1

☎ 042-560-7840

<http://akatuki.or.jp> Email:soumu@akatuki.or.jp

平成25年度事業計画

●福祉事業活動

今年4月より障害者自立支援法から障害者総合支援法に変わった。従来の障害者自立支援法の一部改正で、主な変更点としては、名称の変更、新たに難病患者も給付対象に含めるとしたところである。また今後についても障害程度区分の見直しや就労支援施設における障害者の労働者性等検討をしていくことにはなっているものの、福祉施設を取り巻く不安定な状況はまだ続く。

今年4月より障害者雇用率が2％に引き上げられ、既に障害者雇用数が伸びている状況も聞く。障害者雇用が伸びることは大変喜ばしいことではあるが、そういう状況下で就労移行支援事業を営む施設やセンターの役割は一層大きくなると考えられる。あかつきコロナーは現在武蔵村山市と瑞穂町において二つの障害者就労支援センターを行っているが、今後増える雇用障

たため、新たな軽作業部門を6月から立ち上げた。作業科目として箱折り作業や革細工作業等を実施していく。

●地域福祉

今年4月より特定相談支援事業を武蔵村山市において開始した。昨年4月に相談支援政策の強化として施行され、障害者福祉サービスを利用する全ての障害者にサービス等利用計画を立てていく必要があり、あかつきコロナーにおいても特定相談支援事業の開始に向けて準備を進めてきた。相談支援事業の名称はあかつきコロナー相談支援センターとし、地域の障害者の相談支援、サービス等利用計画の作成等を行っていく。

武蔵村山市障害程度区分審査会への委員派遣、武蔵村山市自立支援協議会委員の派遣を継続するとともに、自立支援協議会傘下の各事業者部会と就労プロジェクトへも積極的に関わっていく。また市内の福祉作業所や関係団体と連携をはかりネットワーク化を推進し、地域の一層の就労支援の向上を図っていく。

害者の定着支援の役割は大きくなっていくと考えられ、就労移行支援セルフあかつきやスペース・まどかにおいても、就職者数の増加を図っていくチャンスでもある。訓練プログラムを充実させて障害者雇用政策の一翼を担えるよう支援の向上を図っていく。

昨年10月に障害者虐待防止法が施行され、法人内において利用者・ご家族への情報提供や職員への啓発等を実施してきた。また虐待防止マニュアルを作成し支援の見直しや共通認識を持つための取り組みも始めたところである。今年度はマニュアルを基に虐待防止や権利擁護への取り組みを進めるとともに、研修会の参加、今後予定されている障害者差別禁止法についても対応できるよう、法人全体の課題として取り組んでいく。

昨年法人内5施設において第三者評価を実施し利用者の支援の向上に繋がった。今年度は就

労移行支援セルフあかつきと就労移行支援・就労継続支援B型スペース・まどかにおいて第三者評価を再度実施し、今後は各施設、隔年毎に実施していく流れを作る。

一昨年耐震検査を東京都の補助を受けて実施し、本館と作業棟において耐震性に疑問ありという結果だった。その後耐震補強工事に向けて準備を進めてきたが、今年度中には実施したいと考えている。補強工事にかかる見積りが4600万円と出ており、今後東京都補助金の申請や借り入れ（福祉医療機構）の申請を行い年内の実施を目指す。

社会福祉法人新会計への移行を来年度から実施していけるよう準備を進めていく。研究と準備は前年度ある程度進んでおり、今年夏くらいに会計ソフトのバージョンアップを行い具体的な移行を進めていく。

●就労支援事業活動

就労支援事業関係では今年度も非常に厳しい状況は否めない。オイルエレメント事業は自動車業界の動向に左右され、好不調

の波が激しく、今年度も厳しい状況が続くと思われる。下請けのため親会社の状況に左右されるが、受けた仕事は丁寧な仕事を心掛け、納期をしっかり守って取り組んでいく。ウエス事業も収益が伸び悩んでいるところだが統括営業部と協力して新規開拓と作業の効率化をはかることで収益を出せるように努力していく。オイルエレメント事業もウエス事業も売上が伸びない中、作業をする利用者が年々増えており、如何に加工高を確保し工賃に反映させていくかが大きな課題である。

印刷事業は市場の縮小と長期に及ぶデフレによる価格の低下もあり非常に厳しい状況にある。また官公庁関係も発注が抑えられている状況も重なり売上げが落ち込む一方、人件費や材料費、消耗品等の支出とのバランスが改善されていない状況となっている。近年人員の削減等行っている。近年人員の削減等行っているものの、それ以上に収入面の落ち込みが続いており、何とか収支バランスがとれる体制作りを目指し取り組んでいく。

まどか作業部門においては精神障害者を中心に封入作業やお

しほり事業、メール便の配達等多岐にわたって事業を行っているが、赤字体質は改善されていない。革細工作業も立ち上げ準備が進められ、今年2月から自主製品の販売が始まったところだが、少しでも赤字体質の改善を目指し取り組んでいく。

その他武蔵村山市との委託契約による紙おむつ給付事業や瑞穂町福祉作業所における箱折りを中心とした軽作業等行っているが、少しでも高い工賃を支払っていくことを目標に取り組んでいく。

就労支援事業に関しては、今年4月から国において障害者優先調達推進法が施行された。ただしあくまで責務という縛りであること、従来にも優先発注制度はあったもののその効果がほとんど無かった経緯もあり、今回の障害者優先調達推進法がどの程度反映されるか不明瞭ではあるが、統括営業部を中心に各機関に働きかけを行っていく。

就労継続支援B型あかつき授産所は、就労移行支援セルフあかつきからの移行者が増え、従来の作業では適性や作業場面積の事情で受け入れが難しくなっ

平成 25 年度社会福祉法人あかつきコロニー収支予算内訳表											(単位：千円)
勘定科目	合計	本部	セルプあかつき (就労移行)	あかつき作業所 (就労継続 A)	あかつき授産所 (就労継続 B)	スペースまどか (就労移行)	瑞穂町福祉作 業所さくら (就労継続 B)	武蔵村山市障害者 就労支援センター とらい	瑞穂町障害者 就労支援センター	あかつきコロニー 相談支援センター	
就労支援事業活動による収支	印刷事業収入	83,500		77,500	6,000						
	第一課事業収入	16,000			10,500	5,500					
	第二課事業収入	11,500			11,500						
	第三課事業収入	1,600			1,600						
	給食事業収入	7,820		7,820							
	紙オムツ事業収入	21,000		21,000							
	その他事業収入	4,700		200		4,500					
	さくら作業部事業収入	5,000					5,000				
	就労支援事業収入計	151,120	0	21,200	85,320	29,600	10,000	5,000	0	0	
	就労支援事業支出	151,120		21,200	85,320	29,600	10,000	5,000			
福祉事業活動による収支	就労支援事業支出計	151,120	0	21,200	85,320	29,600	10,000	5,000	0	0	
	就労支援事業活動資金収支差額	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	更生訓練費・通所交通費収入	420		130		290					
	管理費収入	40,031						8,121	18,185	13,725	
	自立支援費収入	180,563		29,000	15,550	60,290	34,866	39,279		1,578	
	利用者負担金収入	3,475		630	330	1,520	995				
	経常経費補助金収入	23,270		4,200	3,240	8,160	7,670				
	寄付金収入	380		300	10	50	10	10			
	借入金利息補助金収入	100		100							
	雑収入	680		600	10	40	10	10			
施設整備等収支	受取利息配当金収入	6		1	1	1					
	経理区分間繰入金収入	5,000		5,000							
	福祉事業収入計	253,925	6,001	33,981	19,131	70,351	43,552	47,421	18,185	13,725	
	人件費支出	201,570	1,312	26,730	14,626	56,780	35,800	36,674	16,210	1,388	
	事務費支出	27,173	639	3,690	2,610	6,010	3,637	6,747	1,975	190	
	事業費支出	16,132		2,821	1,495	5,761	3,215	2,840			
	借入金利息支出	100		100	0	0					
	経理区分間繰入金支出	5,000		740	400	1,800	900	1,160			
	福祉事業支出計	249,975	2,051	33,981	19,131	70,351	43,552	47,421	18,185	13,725	
	福祉事業活動資金収支差額	3,950	3,950	0	0	0	0	0	0	0	
財務活動収支	施設整備等補助金収入	43,363	0	0	0	43,363	0	0	0	0	
	施設整備等収入計	43,363	0	0	0	43,363	0	0	0	0	
	固定資産取得支出	45,053	0	0	0	45,053	0	0	0	0	
	施設整備等支出計	45,053	0	0	0	45,053	0	0	0	0	
	施設整備等資金収支差額	△ 1,690	0	0	0	△ 1,690	0	0	0	0	
	積立金預金取崩収入	1,690	0	0	0	1,690	0	0	0	0	
	財務収入計	1,690	0	0	0	1,690	0	0	0	0	
	借入金元金償還金支出	3,950	3,950	0	0	0	0	0	0	0	
	財務支出計	3,950	3,950	0	0	0	0	0	0	0	
	財務活動資金収支差額	△ 2,260	△ 3,950	0	0	1,690	0	0	0	0	
当期資金収支差額合計		0	0	0	0	0	0	0	0	0	



平成24年度事業報告

●概要

昨年暮れに衆議院選挙が行われ、自由民主党の圧勝という結果となった。アベノミクスと呼ばれる経済政策のもと、円安への急速な動きや株価の上昇等、景気回復への兆しがみられるが、急激な変化に危惧感も漂っている。円安は一般的に輸出業には有利に働くが輸入業は不利になり、ガソリン価格や輸入製品の高騰は経費の増額に繋がり、あかつきコロナーにおいてもその影響が懸念される。就労支援事業を大きな柱の一つとしている当法人にとって日本経済の回復余波はまだ感じられず、印刷事業をはじめとして厳しい結果となった。

一方障害者自立支援法の改正については昨年3月に閣議決定され、同年4月に衆議院にて可決、同年6月に参議院にて可決・成立され同月27日に公布された。本法律では、平成25年4月1

日から「障害者自立支援法」を「障害者総合支援法」とするとともに、障害者の定義に難病等を追加し、平成26年4月1日から、重度訪問介護の対象者の拡大、ケアホームのグループホームへの一元化などが実施される予定となっている。

●福祉事業活動

昨年4月1日付で就労継続支援B型あかつき授産所において定員を30名から40名に引き上げ、就労移行支援・就労継続支援B型スペース・まどかでは定員の内訳を就労移行支援10名・就労継続支援B型20名から就労移行支援6名・就労継続支援B型24名に変更した。あかつき授産所においては昨年4月1日現在で現員数が38名に増えたことによる定員増で、スペース・まどかは実際の利用者在籍比率に合わせた変更である。

就職者数は就労移行支援セル

プあかつきにおいて2名、スペース・まどかにおいて1名出すことができた。

福祉事業活動収支は利用者数が増えていることや瑞穂町就労支援センターの委託費が反映されたことにより増収となり、福祉事業活動収支差額は957万円、経常収支差額は694万円を計上した。法人全体でも当期活動収支差額は654万円となった。

耐震改修工事は平成24年度では実施せず、平成25年度に実施することとした。東京都から補助要綱が出たのが8月に入ってからであり、年度末の事業の忙しい時期に工事が重なることを避けたことが主な理由である。

第三者評価は全施設（5施設）において実施した。評価機関から示された課題等を各委員会で検討し、利用者の支援向上につなげていけるよう対応策を話し合い実行に移した。

昨年10月に障害者虐待防止法が施行され、あかつきコロナーにおいても多くの職員に研修会に参加してもらい、また虐待についての学習会を実施した。障

害者の虐待については身体的虐待の様なすぐに判断がつくものの他に、日常業務のなかで言葉の使い方等で虐待の認識がないまま虐待につながるケースも考えられるため、支援の内容をチェックしていく必要がある。職員全体で共有認識をもつ必要があることから、法人独自の虐待防止マニュアルを作成した。11月にマニュアル作成委員会を設置し3月中に仕上げたが、今後はマニュアルに沿って支援の向上を図っていく。

●就労支援事業活動

就労支援事業では依然厳しい状況が続き、特に印刷事業で△564万円となり事業の悪化が止まらない結果となった。人件費や経費の削減を行っているものの、売上が前年度より一千万円以上更に落ち込み収支バランスが取れない状況が続いている。更なる経費削減を努力しているが、景気回復の兆しもあることから平成25年度の状況を見て今後の方向性を検討していく。まどか作業部門も△55万円となり赤字体質から脱却できな

った。今年から革細工事業を立ち上げたところであり収益が改善できるよう努力していく。オイルエレメント事業やウエス事業等の他の事業は黒字計上できたが、就労支援事業全体では△266万円という結果となった。

平均工賃は就労継続支援B型あかつき授産所で二八一三七円、就労継続支援A型あかつき作業所で一五〇二一三元、就労継続支援B型スペース・まどかでは一五五〇〇円、就労継続支援B型瑞穂町福祉作業所さくらでは一五八四六円という結果だった。

●地域福祉

武蔵村山市障害者就労支援センターとらいは平成25年3月末現在登録者数が192名となり、就職者を22名出すことができた。とらいは開所5年が経過したが毎年就職者を20名以上出しており、登録者も多く抱え定着支援にも力を入れており非常に忙しい状況である。武蔵村山市内において認知度も上がり非常に高い評価を受けている。

瑞穂町障害者就労支援センタ

ーは開設1年4ヶ月が経過し、センター業務も軌道に乗り、瑞穂町内の認知度も上がってきた。登録者については3月末現在51名となり、今後も増加傾向がうかがえる。今年度の就職者については、正規雇用1名、正規以外6名、就労継続支援A型1名で計8名だった。

前年度に引き続き、武蔵村山市障害程度区分審査会へ職員を派遣、武蔵村山市自立支援協議会とそれに付随するプロジェクト委員会や専門部会への職員派遣を行い地域福祉向上への取り組みに協力した。また市内福祉事業所と連携をとり、障害者の就労支援の向上を目指したネットワーク作りを推進した。

貸借対照表（平成25年3月31日現在）							
資 産 の 部				負 債 の 部			
勘定科目	当年度末	前年度末	増 減	勘定科目	当年度末	前年度末	増 減
流動資産	127,762,397	130,311,673	△ 2,549,276	流動負債	24,027,261	29,851,323	△ 5,824,062
現金	380,585	634,659	△ 254,074	未払金	33,139,222	33,199,903	△ 60,681
普通預金	64,016,279	65,851,630	△ 1,835,351	預り金	123,218	237,903	△ 114,685
当座預金	294,786	294,786	0	前受金	0	152,145	△ 152,145
定期預金	11,344,351	11,329,730	14,621	仮受金	3,724,723	5,699,682	△ 1,974,959
郵便貯金	750,294	750,112	182	あかつき作業所勘定（流動負債）	△ 10,057,957	△ 9,842,347	△ 215,610
受取手形	918,975	120,370	798,605	あかつき授産所勘定（流動負債）	△ 2,901,945	404,037	△ 3,305,982
売掛金	16,524,837	14,957,529	1,567,308	固定負債	12,550,000	16,500,000	△ 3,950,000
商品・製品	1,999,752	824,622	1,175,130	設備資金借入金	12,550,000	16,500,000	△ 3,950,000
原材料	2,578,845	3,182,216	△ 603,371	負債の部合計	36,577,261	46,351,323	△ 9,774,062
未収金	40,322,838	38,235,939	2,086,899				
立替金	1,590,757	3,558,835	△ 1,968,078	純 資 産 の 部			
前払金	0	9,555	△ 9,555	基本金	156,178,608	156,178,608	0
事業所勘定（流動）	△ 12,959,902	△ 9,438,310	△ 3,521,592	基本金	156,178,608	156,178,608	0
固定資産	274,900,171	283,048,999	△ 8,148,828	国庫補助金等特別積立金	120,879,901	128,348,466	△ 7,468,565
基本財産	205,137,752	213,300,727	△ 8,162,975	国庫補助金等特別積立金	120,879,901	128,348,466	△ 7,468,565
建物	111,916,890	120,079,865	△ 8,162,975	その他の積立金	34,640,505	27,302,505	7,338,000
土地	92,920,862	92,920,862	0	備品購入積立金	5,852,667	6,314,667	△ 462,000
基本財産特定預金	300,000	300,000	0	修繕積立金	17,228,988	10,228,988	7,000,000
その他の固定資産	69,762,419	69,748,272	14,147	人件費積立金	7,722,644	6,922,644	800,000
構築物	405,000	540,000	△ 135,000	基本特定積立金	300,000	300,000	0
機械及び装置	23,496,892	29,289,134	△ 5,792,242	移行時特別積立金	3,536,206	3,536,206	0
車両運搬具	3,017,189	3,091,946	△ 74,757	次期繰越活動収支差額	54,386,293	55,179,770	△ 793,477
器具及び備品	8,325,119	9,646,973	△ 1,321,854	次期繰越活動収支差額	54,386,293	55,179,770	△ 793,477
権利	177,714	177,714	0	（うち当期活動収支差額）	6,544,523	2,961,173	3,583,350
備品購入積立預金	5,852,667	6,314,667	△ 462,000				
修繕積立預金	17,228,988	10,228,988	7,000,000				
人件費積立預金	7,722,644	6,922,644	800,000				
移行時特別積立預金	3,536,206	3,536,206	0	純資産の部合計	366,085,307	367,009,349	△ 924,042
資産の部合計	402,662,568	413,360,672	△ 10,698,104	負債及び純資産の部合計	402,662,568	413,360,672	△ 10,698,104

〈その他の事案・結婚、出産、

職種変更、移動〉

就職、労働環境の変化、昇進、

環境、家族の変化〉（社会人・

として、〈学生時代・いじめ、

成人期に自覚されるきっかけ

いものがありました。

て障害化する発達障害が印象深

害がありますが、成人期になっ

想像力の障害など様々な発達障

ど社会性・コミュニケーション・

障害、注意欠陥・多動性障害な

では自閉症スペクトラムや学習

害、注意欠陥・多動性障害など

害の特徵、援助者・支援者の専

門的な対応方法を学んでしまし

た。

先天的な障害である発達障害

では自閉症スペクトラムや学習

障害、注意欠陥・多動性障害な

害の特徵、援助者・支援者の専

門的な対応方法を学んでしまし

た。

先天的な障害である発達障害

では自閉症スペクトラムや学習

障害、注意欠陥・多動性障害な

害の特徵、援助者・支援者の専

門的な対応方法を学んでしまし

た。

先天的な障害である発達障害

では自閉症スペクトラムや学習

障害、注意欠陥・多動性障害な

害の特徵、援助者・支援者の専

門的な対応方法を学んでしまし

た。

先天的な障害である発達障害

では自閉症スペクトラムや学習

障害、注意欠陥・多動性障害な

害の特徵、援助者・支援者の専

門的な対応方法を学んでしまし

た。

先天的な障害である発達障害

では自閉症スペクトラムや学習

障害、注意欠陥・多動性障害な

害の特徵、援助者・支援者の専

門的な対応方法を学んでしまし

た。

先天的な障害である発達障害

では自閉症スペクトラムや学習

障害、注意欠陥・多動性障害な

害の特徵、援助者・支援者の専

門的な対応方法を学んでしまし

た。

先天的な障害である発達障害

では自閉症スペクトラムや学習

障害、注意欠陥・多動性障害な

害の特徵、援助者・支援者の専

門的な対応方法を学んでしまし

た。

先天的な障害である発達障害

では自閉症スペクトラムや学習

障害、注意欠陥・多動性障害な

害の特徵、援助者・支援者の専

門的な対応方法を学んでしまし

た。

によって改善する可能性がある

解と支援が不可欠であり、それ

ち着かせる事になり、周囲の理

解と支援が不可欠であり、それ

て、友人や大人から認められ

に、友人や大人から認められ

に、友人や大人から認められ

に、友人や大人から認められ

に、友人や大人から認められ

に、友人や大人から認められ

に、友人や大人から認められ

に、友人や大人から認められ

に、友人や大人から認められ

に、友人や大人から認められ

に、友人や大人から認められ

に、友人や大人から認められ

に、友人や大人から認められ

に、友人や大人から認められ

に、友人や大人から認められ

に、友人や大人から認められ

に、友人や大人から認められ

に、友人や大人から認められ

に、友人や大人から認められ

に、友人や大人から認められ

に、友人や大人から認められ

に、友人や大人から認められ

に、友人や大人から認められ

に、友人や大人から認められ

に、友人や大人から認められ

に、友人や大人から認められ

に、友人や大人から認められ

に、友人や大人から認められ

に、友人や大人から認められ

に、友人や大人から認められ

に、友人や大人から認められ

に、友人や大人から認められ

に、友人や大人から認められ

に、友人や大人から認められ

に、友人や大人から認められ

に、友人や大人から認められ

に、友人や大人から認められ

に、友人や大人から認められ

に、友人や大人から認められ

に、友人や大人から認められ

に、友人や大人から認められ

に、友人や大人から認められ

に、友人や大人から認められ

に、友人や大人から認められ

に、友人や大人から認められ

に、友人や大人から認められ

に、友人や大人から認められ

に、友人や大人から認められ

に、友人や大人から認められ

に、友人や大人から認められ

に、友人や大人から認められ

に、友人や大人から認められ

に、友人や大人から認められ

に、友人や大人から認められ

に、友人や大人から認められ

に、友人や大人から認められ

に、友人や大人から認められ

に、友人や大人から認められ

に、友人や大人から認められ

に、友人や大人から認められ

に、友人や大人から認められ

刷事業をA型事業所として就労

うだというものを取り入れ、印

取組み発表の中でこれは出来そ

うだというものを取り入れ、印

取組み発表の中でこれは出来そ

取組み発表の中でこれは出来そ

取組み発表の中でこれは出来そ

取組み発表の中でこれは出来そ

取組み発表の中でこれは出来そ

取組み発表の中でこれは出来そ

取組み発表の中でこれは出来そ

取組み発表の中でこれは出来そ

取組み発表の中でこれは出来そ

取組み発表の中でこれは出来そ

取組み発表の中でこれは出来そ

取組み発表の中でこれは出来そ

取組み発表の中でこれは出来そ

取組み発表の中でこれは出来そ

取組み発表の中でこれは出来そ

取組み発表の中でこれは出来そ

取組み発表の中でこれは出来そ

取組み発表の中でこれは出来そ

取組み発表の中でこれは出来そ

取組み発表の中でこれは出来そ

取組み発表の中でこれは出来そ

取組み発表の中でこれは出来そ

取組み発表の中でこれは出来そ

取組み発表の中でこれは出来そ

取組み発表の中でこれは出来そ

取組み発表の中でこれは出来そ

取組み発表の中でこれは出来そ

取組み発表の中でこれは出来そ

取組み発表の中でこれは出来そ

取組み発表の中でこれは出来そ

取組み発表の中でこれは出来そ

取組み発表の中でこれは出来そ

取組み発表の中でこれは出来そ

取組み発表の中でこれは出来そ

取組み発表の中でこれは出来そ

取組み発表の中でこれは出来そ

取組み発表の中でこれは出来そ

取組み発表の中でこれは出来そ

取組み発表の中でこれは出来そ

取組み発表の中でこれは出来そ

取組み発表の中でこれは出来そ

取組み発表の中でこれは出来そ

取組み発表の中でこれは出来そ

取組み発表の中でこれは出来そ

取組み発表の中でこれは出来そ

取組み発表の中でこれは出来そ

取組み発表の中でこれは出来そ

取組み発表の中でこれは出来そ

取組み発表の中でこれは出来そ

取組み発表の中でこれは出来そ

取組み発表の中でこれは出来そ

取組み発表の中でこれは出来そ

取組み発表の中でこれは出来そ

取組み発表の中でこれは出来そ

取組み発表の中でこれは出来そ

取組み発表の中でこれは出来そ

取組み発表の中でこれは出来そ

取組み発表の中でこれは出来そ

取組み発表の中でこれは出来そ

取組み発表の中でこれは出来そ

取組み発表の中でこれは出来そ

競争だけになってしまうと結果

しかし、一般企業との見積り

りました。

りました。

りました。

りました。

りました。

りました。

りました。

りました。

りました。

りました。

りました。

りました。

りました。

りました。

りました。

りました。

りました。

りました。

りました。

りました。

りました。

りました。

りました。

りました。

りました。

りました。

りました。

りました。

りました。

りました。

りました。

りました。

りました。

りました。

りました。

りました。

りました。

りました。

りました。

りました。

りました。

りました。

りました。

りました。

りました。

りました。

りました。

りました。

りました。

りました。

りました。

りました。

りました。

りました。

りました。

りました。

りました。

りました。

りました。

りました。

りました。

りました。

りました。

が厳しくなるというのは共通の

課題です。そんな状況の中でこ

の度の優先調達推進法（障害者

施設に優先的に発注をさせる）

を積極的に活用し、お客様にア

ピールしていく活動を続ける事

は全法人共通してできる事とし

て確認をしました。

7・8月はゼンコロ全法人の

売り上げが毎年落ち込む事から

この活動が大きく数字に影響

（新規活動も含む）すると思わ

れるので、なんとしても事業を

引っ張っていき、年間売上プラ

スにし、「営業ここにあり」と

したいという思いを強くする研

修会でした。

修会でした。

修会でした。

修会でした。

修会でした。

修会でした。

修会でした。

修会でした。

修会でした。

修会でした。

修会でした。

修会でした。

修会でした。

修会でした。

修会でした。

修会でした。

修会でした。

修会でした。

修会でした。

修会でした。

修会でした。

修会でした。

修会でした。

修会でした。

修会でした。

修会でした。

修会でした。

修会でした。

修会でした。

修会でした。

修会でした。

修会でした。

修会でした。

修会でした。

修会でした。

修会でした。

修会でした。

修会でした。

修会でした。

修会でした。

修会でした。

修会でした。

修会でした。

修会でした。

修会でした。</

瑞穂町福祉作業所 さくら近況報告

サービス管理責任者

大滝 実

梅雨明け宣言から猛暑が続く、ジリジリと暑い日差しの中、利用者・職員共、汗を流して頑張っております。

前号の時より4名の方が新たに通所する事になり、定員30名のところ28名の方が在籍しております、施設内・外作業や行事に積極的に参加されています。

さて、近況ですが作業では施設外作業に多くの利用者の方が参加してもらう体制作りを実施致しました。また、前年度までは町からの委託業務として狭山谷公園の清掃を行っていましたが、4月からさすが公園に変更になり、担当箇所や敷地面積も広くなった為、実施回数を増やし美化に努めております。場所も住宅街の中にあり、閑静な場所にあります、散歩中の方やゲートボールをしている方に「公園



がとうございませうと感謝を述べて、二人で照れてる様子はとても微笑ましい光景でした。



今後利用者の方には様々な機会の提供を行うと共に色んな体験を積んで頂ける様に尽力致します。

最後に行事では春レクとして「武蔵村山イオンモール」に行き、買物や映画鑑賞、食事を楽しんで参りました。映画

鑑賞の際には事前に鑑賞する映画を各々で決めてもらい自分で手帳を提示し半額で購入して頂き、社会資源の活用方法を学んで頂きました。

今年度から「瑞穂町ふれあい運動会」と名称が変更となり、沢山の利用者の方が出席して頂き、驚異のスタミナで殆どの方が全競技に参加する事となりました。楽しそうに時には苦しそうに参加されている様子はさくらの代名詞の「げんき!!」という言葉がピッタリでした。

これからも元気にみんなで楽しく一生懸命に何事も乗り越えて行きたいと思っております。

新人紹介

みなさんよろしくお願いしま〜す！！



■一生懸命仕事を頑張りたいと思います。よろしくお願いします。

森 真弓さん



■さくらさんでは親友さん達と仲良く仕事をしています。これからも仕事を頑張ります。

新田 哲也さん



■今さくらでいろいろな人とお仕事を頑張っています。僕は集中しながらいろんな仕事をしています。

高橋 聡さん



■さくらをがんばります。

久村 勇洋さん



■2月から作業所さくらでお世話になっている小山倫子です。利用者の皆さんと一緒に楽しくお仕事をさせて頂いてます。少しでも皆さんのお役に立てればと思います。宜しくお願いします。

小山 倫子さん

ボーリング大会

セルフあかつき 西出 英高

去る平成25年5月25日(土)、調布スポーツセンターにおきまして、第14回東京都障害者スポーツ大会のボーリング／知的部門が開催されました。今年も私共あかつきコローからこの大会に参加して来ました。

午前の部と午後の部は性別や年齢別に分けられており、20歳未満の男性と全年齢の女性が午前の部、20歳以上の男性が午後の部のエントリーになります。今年それぞれ3名ずつ、計6名の参加になりました。例年と比べると少ない参加人数になりましたが、参加者は皆それぞれ例年にも増して気合いの入ったプレーを見せてくれました。

各レーン6名で順位を競い、試合後の表彰式では、3位以内に入ると表彰台に上がる事が出来ます。そしてそれぞれ金、銀、銅のメダルが貰えます。今年は、あかつきコローからの参加選手6名中、なんと4名の方が表彰台に上がる事が出来ました。

普段は殆ど仕事上での付き合いしか持てない皆さんですが、休日のスポーツ大会の参加を通して、お互いに応援し合い喜び合う姿を見て、より仲間意識を強く持てた大会だったと思います。また、お互いに普段なかなか見られない笑顔や出来ない会話をすることで、普段の仕事の中でも良い方に影響し合う仲間となるきっかけになったのではないのでしょうか。



新人紹介

みなさん
よろしくお願いしま〜す！！



■今年の2月18日に入社した三家本です。好きなことは運動することと音楽を聴く事です。運動はサッカーと家で腕立てと腹筋をしています。よろしくお願いします。

就労移行部
三家本裕司さん



■私は、このセルフあかつきに来ていろいろと仕事の勉強をしています。どうかこれからもよろしくお願いします。

就労移行部
福岡 千佳さん



■今年の7月から作業部2課へ入所しました。江田みづきです。皆様と仲良く作業が出来るように頑張ります。

作業部2課
江田みづきさん



■6月1日より入職した内野由美です。学ぶことが多い毎日ですが、前向きにそして思いやりを持って支援できるように努めたいです。どうぞよろしくお願いします。

瑞穂就労センター
内野 由美さん



■4月より入職した細川です。これから多くの知識や経験を身につけ、仕事に取り組んでいきたいと思ひます。宜しくお願いします。

とらい
細川菜穂子さん



■あかつきに来る前は「ジョイントワークひこばえ」という作業所にいました。至らない所もあると思いますがよろしくお願いします。

印刷部
大道寺勇人さん

